



その人らしくを大切に
社会福祉法人
すこやか福祉会



みんなの「生きる」を
社会福祉法人
すこやか福祉会

2023

8

Vol. 64

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日: 2023 年 8 月 1 日 第 64 号

本部事務局 住所: 〒120-0023
東京都足立区千住曙町 4-16

TEL: 03-5813-9251

住みなれたまちで

2023年11月 すこやか福祉会は 東京さくら福祉会と法人合併します



小規模多機能サービス ひまわりの家

社会福祉法人すこやか福祉会は、今年3月に開催した理事会・評議員会で法人合併を承認しました。

11 月 1 日付けをもって社会福祉法人東京さくら福祉会を吸収合併し、引き続き「すこやか福祉会」として事業や諸活動に取り組んでまいります。

東京さくら福祉会は、人材不足により東京都新宿区や渋谷区の事業所を数年の間に相次いで閉鎖し、現在東京都世田谷区と千葉県流山市という離れた地域で介護事業を行っているため、小規模法人としての事業運営や職員確保・育成、人事交流などで困難な状況にあります。

一方のすこやか福祉会は、もともと広域的に事業を行っている中で人材育成・研修拠点施設を各地に展開する必要があること。また、人材不足や経営問題での事業所閉鎖による縮小再編に歯止めをかけ拡大発展へと舵を切ること重要課題と位置付けています。

今回の合併により、事業地域は東京都、埼玉県、千葉県の 1 都 2 県(7 区 3 市)と拡大します。スケールメリットを生かしたサービスを提供し、各地域での職員研修拠点を作るなど利用者と職員を優先した経営をめざします。

また、これまで両法人で培ってきました技術や経験を最大化しつつ、社会福祉法人としての社会的責務を果たすために、全職員総力で奮闘する所存です。今後も倍旧のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

常務理事 菊地 雅彦

<2023 年 11 月合併後の法人概要>

名称	社会福祉法人すこやか福祉会
法人本部	東京都葛飾区新宿 3-4-10
事業地域	東京都: 足立区、江戸川区、葛飾区、港区 江東区、墨田区、世田谷区 埼玉県: 三郷市、八潮市 千葉県: 流山市
事業所数	50 事業所
事業内容	認可保育園、学童保育クラブ、特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム、グループホーム、小規模多機能、通所介護、訪問介護、認知症デイ、居宅介護支援、地域包括支援センター、介護タクシー
職員数	約 800 人



社会福祉法人すこやか福祉会 2022年度 決算報告

(自)2022 年 4 月 1 日 (至)2023 年 3 月 31 日

○貸借対照表(資産の状況)

単位:千円

科 目	今年度末	前年度末	増減額
資 産	4,305,519	4,158,160	+147,359
負 債	1,614,344	1,598,457	+15,887
純資産	2,691,175	2,559,703	+131,472

○資金収支計算書

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入	3,494,869	3,490,834	+4,034
事業活動支出	3,397,192	3,346,468	▲9,276
事業活動収支差額	+157,677	+144,366	+13,310
施設整備等収入	151,734	151,734	0
施設整備等支出	281,496	281,496	0
施設整備収支差額	▲129,762	▲129,762	0
その他活動収入	28	28	0
その他活動支出	73,990	73,990	0
その他収支差額	▲73,962	▲73,962	0
当期資金収支差額	▲46,048	▲59,358	+13,310
前期末資金残高	739,005	739,005	0
当期末資金残高	692,957	679,646	+13,310

○事業活動計算書

単位:千円

科 目	当年度	前年度	増減額
サービス活動収益	3,475,265	3,320,239	+155,025
サービス活動費用	3,407,361	3,299,401	+107,960
サービス活動増減差額	+67,904	+20,838	+47,066
サービス活動外収益	15,570	16,120	▲551
サービス活動外費用	18,342	10,025	+8,317
サービス活動外差額	▲2,772	+6,095	▲8,868
経常増減差額	+65,132	+26,934	+38,198
特別収益	146,762	8,629	+138,133
特別費用	101,737	9,567	+92,170
特別増減差額	+45,024	▲938	+45,962
当期増減差額	+110,156	+25,906	+84,161

【貸借対照表(資産の状況)】

2022 年度末の現預金残高は約 4 億 4500 万円
で、前年度末よりも約 5400 万円減少し、サービス活
動費用合計からみた現預金残高の月商倍率(現預金
対事業活動支出比率)は 1.57 倍となり、2021 年度末
の 1.82 倍より 0.25 減少しました。

短期的な支払能力指標の流動比率(流動資産÷
流動負債)は 257%でした。

資産合計から負債合計を除いた差引純資産が前年
度より約 1 億 3000 万円増加し、26 億 9000 万円と
なりました。

【資金収支計算書】

予算は年度末に確認した補正予算のため、決算と
の差額はほとんどないのですが、2022 年度は事業活
動支出で 930 万円の差異が生じました。

日常の事業活動に関わる事業活動資金収支差額
は 2021 年度よりも約 6000 万円増加し約 1 億 4400
万円となりました。

当期末支払資金残高は、前年度 7 億 3900 万円よ
り約 5900 万円減少し、6 億 8000 万円となりました。

【事業活動計算書】

サービス活動収益はコロナ禍による休業や利用控え
などがありましたが、一方で多額の寄附があり 1 億
5500 万円増加しました。しかし、サービス活動費用も
ロシアのウクライナ侵略に端を発した日本経済の行き
詰まりによる物価高の影響で大幅な経費増があったこ
とや修繕関連の費用増で 1 億 800 万円増加しました。

2022 年度の人件費率(サービス活動収益比)は
74.3%で 2021 年度の 77.1%と比較すると 2.8 ポイン
ト減少していますが、これは経常経費寄附金の増加に
よるもので、寄附を除く収益に対する人件費率は前年
度より増加傾向です。

当期活動増減差額で 8 期連続の黒字+1 億 1000
万となりました。しかし、通常の事業活動では赤字であ
るため、2023 年度の早い段階で収支構造の見直しや
個別の経営改善の実施など早急に経営対策が必要
です。

すこやか福祉会常務理事 菊地 雅彦

新任所長 ご挨拶

ファミリーケア大島 松本 可奈子



本年 6 月 21 日よりファミリーケア大島の所長になりました、松本 可奈子です。

2003 年新入職員として入職。老人保健施設で 5 年、その後訪問介護へ異動し、ファミリーケア大島での勤務は 7 年目になります。

ファミリーケア大島は下町感あふれる商店街が近くにあり、事務所からはスカイツリーも見える魅力的な場所にあります。

また 2017 年 12 月より診療所・薬局・訪問看護・居宅事業所と同ビル内に拠点を置き、他職種との連携を密に行いながら利用者様一人一人を尊重し支え合いながら活動しています。

共に働いてくれている大島の職員達は、心穏やかで個性あふれる人達が多く、困った時にはずっと手をさし述べてくれます。チームワーク力抜群の職員達に日々助けられています。

これからも職員達にとってより働きがいのある職場になるよう環境を整えていけたらと思っています。

私が常に心がけていることは「相手の気持ちに寄り添う心」です。

利用者様一人一人の気持ちに寄り添い、心のこもったケアを提供できるよう職員一同で力を合わせていきたいと思ひます。



こばとの森保育園 山下 香織



こばとの森保育園園長として 2 年目に入りました。

保育園というワードで、昨今ニュースの話題で多く取り上げられるようになりました。話題と言ってもよい話題ではありません。

「保育士不足」「不適切保育」「保育士の配置基準の低さ」等、その事に現在真正面からぶつかっています。

「保育士不足」はまさに深刻な問題です。

様々な広告媒体を使って求人を出しても、ほとんど応募が来ない現状です。

本来なら子どもと楽しく仕事ができる保育士の今の仕事は、書類の異常な多さ、家庭支援の難しさ、感染症対策、熱中症対策、ケガや病気の対応、毎日の散歩時の緊張感などなど本当に過酷なのです。

「不適切保育」では、先日子ども家庭庁より「不適切保育をなくすため保育士の仕事軽減をしてください」と通知がありました。

「保育士の配置基準が低い」ことも大問題です。

今、いろいろな団体で「もう一人保育士を」と訴えています。現場からの切実な思いです。

そんな大変な仕事ですが、私たちは夢と希望を持ち仕事をしています。

子どもたちにどんな人間に育ってほしいと思って保育をしているかと問い、

「ありのままの自分を隠したり放り出したりしないで、自分の人生を自分で選び、仲間とともに歩んでいける人になってほしい。その際、他の人を踏み台にしたりせず、自分のこともほかの人のことも大切にすることを選ぶ人になってほしい」

今すぐに答えが出る仕事ではありませんが、その思いが大人になった時につながり、心豊かな人生を歩んでほしいと願っています。





子どもたちの遊びで人気のプラバン作り！
それにまつわる子どもたちのステキなところをおひ
とつ。

どんどん増えていくプラバンは、集めてながめて嬉
しい！それだけでも充分幸せ。

でも、子どもたちはまだまだもっとドキドキわくわくの
方へ向かっていくのです。

耳にしたことがある方もきつというのでしょうか。「プラ
バンづくり」は「プラバンはじき」なる遊びへ発展してい
きます。

出来上がった少しずつ微妙に大きさや形のことな
るプラバンたち。

それがゆえにまた
奥深い。

「プラバンはじき」は
単なるおはじき遊び
なのですが、ねらっ
た通りまっすぐ飛ん
でガッツポーズし
たり、あさっての方
へ飛んでみんなで
笑ったり。思うよう
にいったりいかなか
たりが面白い。

作っただけではな
く「作ったもので遊ぶ」それも自分たちで考えたオリジ
ナルの遊びでルールで。さらにそれが上級生から 1
年生へ伝わり繋がって。

子どもたちの無限大の可能性はどんな瞬間もあふ
れています。

金町学童保育クラブ 川口 大樹



毎年恒例！

皆さまからの作品をお待ちしています！！

職員/ご利用者さま、施設・団体で参加、個人で参
加、地域の方も大歓迎！商品もお楽しみに！

【スケジュール】

応募締切 9 月 15 日(金)

展示期間 10 月 16 日(月)～20 日(金)

於：葛飾やすらぎの郷 ※作品集の冊子も配布します

投票 10 月 23 日(月)まで

発表 11 月 2 日(木)

商品 参加賞・優秀賞あり

【お問い合わせ/連絡先】

葛飾やすらぎの郷(すこやか福祉会を支援する会)

TEL: 03-5648-8250

↓ 昨年の優秀賞作品の一部

